



# Hi-Ho-News にゅーす



公益財団法人  
環境科学技術研究所  
(環境研)

2026年 1月

排出放射性物質影響調査に関する情報を紹介いたします。

## ろっかしよ産業まつり ～理科教室を行いました～

10月18・19日、尾駈漁港にてろっかしよ産業まつりが開催され、環境研も理科教室を行いました。

1日目の午後は雨、2日目は冷たい風が吹きましたが、会場は県内各地から来た大勢のお客様で賑わいました。今年は、防災トイレや水土のう、紙おむつなどに使われている「吸水性ポリマー」について、どれくらいの水を吸ってくれるのか実験し、最後はきれいなオブジェに仕上げてもらいました。耳かき1杯のポリマーがどんどん水を吸って予想外にふくらむ様子に、大人も子どもも驚いていました。



あ、ふくらんできた！



完成した作品



大にぎわい！

## 郷土館共催、ミツロウキャンドルづくり教室開催

9月27日、六ヶ所村立郷土館と共催で「蜜燭キャンドルづくり教室」を開催しました。郷土館では六ヶ所村の生き物や自然環境に関心を持ってもらうために、さまざまなイベントを定期的で開催しています。

参加者は、日本ミツバチと西洋ミツバチ2種類のハチのミツロウの違いを体験した後、無着色と着色されたミツロウを使い、カラフルで個性的なキャンドル作りを楽しみました。当日は、ミツバチの生態や自然環境に詳しい環境研の職員が講師を務め、2種類のミツバチの生態の違いについて学びました。



参加者の作品から



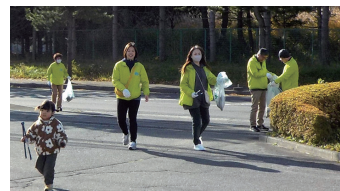
ミツバチのお話し



親子でコネコネ

## 皆さんと共に清掃活動をしました

六ヶ所村産業協議会主催の「泊地区タタミ岩清掃奉仕活動」(10月10日)と尾駈レイクタウン自治会主催の「秋のごみ一掃活動」(11月8日)が行われ、環境研職員も参加しました。本研究所は、これからも積極的に地域の環境美化活動に取り組んでまいります。





## 放射線の影響を研究する機関の長が全国から集まりました

関連機関の連携を深めることを目的とした放射線影響研究機関協議会の運営会議が、11月6日に三沢市にて開催されました。10機関※の理事長や所長らによる1年間の活動報告とともに、国際放射線防護委員会(ICRP)主委員会の前委員である甲斐倫明氏による講演「ICRP勧告改訂に向けた動向と我が国の貢献」を行いました。翌日には核燃料サイクル施設や環境研の見学も行って、六ヶ所村の状況について広く知っていただくことができました。

※量子科学技術研究開発機構、広島大学、長崎大学、京都大学、福島県立医科大学、弘前大学、福島大学、放射線影響研究所、電力中央研究所、環境科学技術研究所(順不同)



## 日本放射線影響学会の学会賞を受賞しました

第68回日本放射線影響学会大会(10月23日~26日、広島)にて島田義也理事長(写真前列左端)が日本放射線影響学会功績賞を、生物影響研究部の田中イグナシャ研究専任員(写真後列左から2番目)が日本放射線影響学会女性研究者顕彰・岩崎民子賞を受賞いたしました。



## ミニパンフ第3弾を発行

低線量の放射線の影響について、地域共創委員の皆様からご意見をいただきつつ、マンガ入りの新ミニパンフレットを発行しました。



詳しくはこちらから



## 環境科学セミナー、むつシンポジウムを開催しました

調査内容などについてご紹介する環境科学セミナーを県内3カ所で開催しました。六ヶ所村会場では「うみとうみの生き物」をテーマにして、北海道大学大学院水産科学研究院長の都木靖彰(たかぎやすあき)氏による講演を行いました。また、むつ市にてむつ海洋・環境科学シンポジウム(むつ市及び市内の研究機関との共催)を開催し、環境研からは環境影響研究部の佐藤雄飛研究員が海藻などへのヨウ素の取り込みに関する調査研究を紹介しました。



お問い合わせ先(放射線に関するご質問も受け付けております)



公益財団法人  
環境科学技術研究所 共創センター

ホームページ <https://www.ies.or.jp/>  
メールアドレス [kanken@ies.or.jp](mailto:kanken@ies.or.jp)



電話(FAX) 0175-71-1240(71-1270)

本誌は青森県からの委託により制作しています。